



テクニカル・メッセージ

燃料タンク ブリーザー機能の点検について

給油の際、燃料タンクのキャップが固くて緩めにくい、又、緩めた時にシュー音がする場合には、燃料タンク内の負圧状態が懸念されます。このまま放置すると、エンジンの不調・破損の恐れがありますので、ブリーザーホース先端又はフィルターキャップのエア抜き穴の詰り等が無いことを点検して下さい。

1. 対象 : 全車

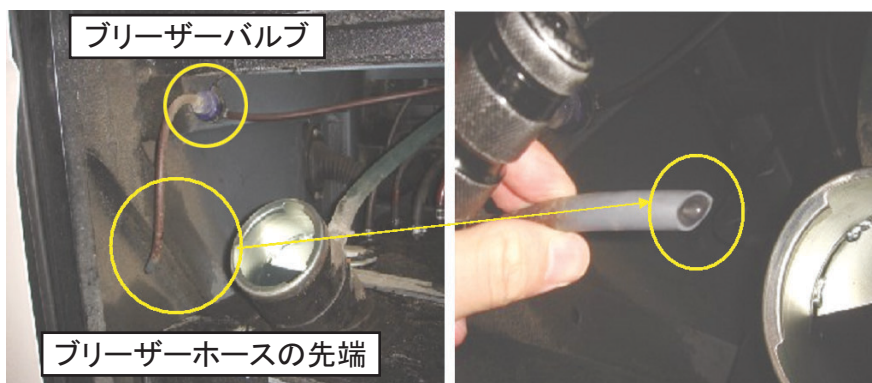
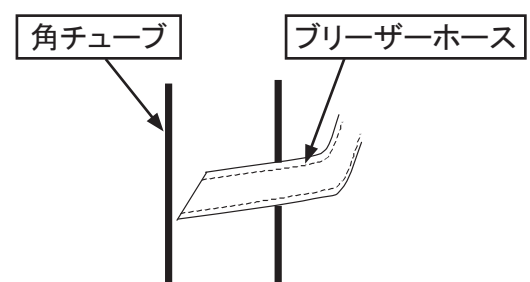
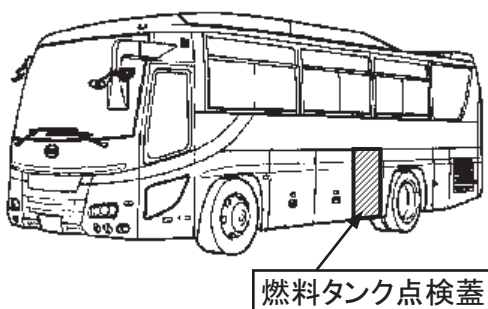
2. ブリーザー機能の種類

燃料タンクのブリーザーは、バスで主に採用されているブリーザーホースで息つきするタイプ(フィルターキャップは密閉式)と、トラック及び一部バスで採用されているブリーザー機能付きフィルターキャップで息つきするタイプ(ブリーザーホース無し)があります。

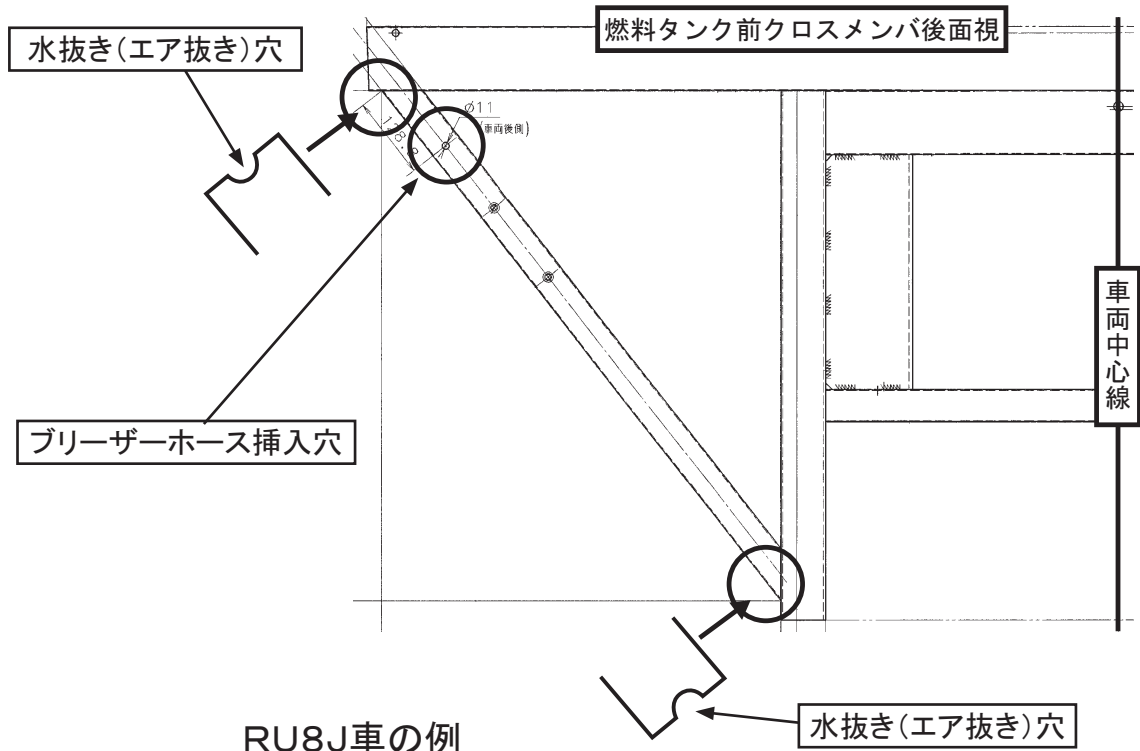
3. ブリーザータイプ別点検・確認部位

1) ブリーザーホース (バスの例)

- ① 燃料タンク周り、ブリーザーバルブ及びブリーザーホースの先端に詰まりの無いことを確認して下さい。ブリーザーバルブについては、穴から息等を吹きかけ空気が通るかどうかの確認、又、ブリーザーホースについては、先端を角チューブ内に差し込んでいる場合には、抜き出して確認して下さい。尚、復元時に戻しすぎると、ホース先端と角チューブが密着し閉塞の原因となりますので、注意して下さい。

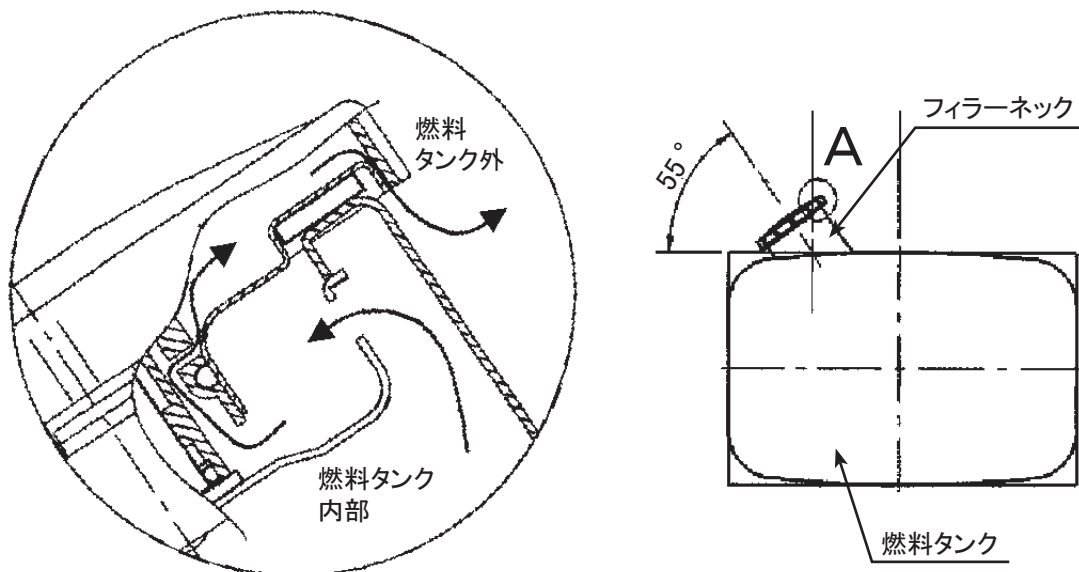


- ② 角チューブ上下端にある水抜き(エア抜き)穴の閉塞がないか確認して下さい。
閉塞している場合は、異物等を除去して下さい。



- 2) フィラーキャップ : ブリーザー付はケースのメッキ色がシルバー(中型トラックの例)
フィラーキャップの裏面を洗浄し、ゴミ等が付着していないことをご確認して下さい。

フィラーキャップ内部のエアの流れ(A部拡大図)



注意

ブリーザーホースを採用している車両への、ブリーザー付キャップの使用、及びブリーザー付キャップを採用している車両に、密閉式キャップを取付けた場合、燃料漏れ、及び燃料タンクの潰れ、エンジンの不調・破損の恐れがありますので、絶対に取り違えないようお願いします。